

九大学研都市メールマガジンvol.143 (令和4年12月号)

opack_mailmagazine

* * * *

九大学研都市メールマガジンvol.143 (令和4年12月号)

* * * *

opack_mailmagazine

本メルマガ配信を行っております<emagazine@opack.jp>は、配信専用アドレスです。

付きのイベントは、OPACKホームページ<<https://www.opack.jp/>>内の「九大学研都市トピックス」に各イベントのサムネイルを掲載しておりますので、そちらからもご覧いただけます。

* * * *

○*I N D E X**○

* * * *

。。*。*。*。*。*。九大学研都市に関する団体・機関からお知らせ*。*。*。*。*。*。*

【1】12月7日・14日・21日開催
九州大学アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)
「Brown Bag Seminar Series ~ 第76回・第77回・第78回 ~」

【2】12月15日~16日開催
九州大学アジア・オセアニア研究教育機構シンポジウム2022

【3】12月12日開催
第24回GICセミナー「OLED TV技術と未来展望」

【4】11月30日公募開始
2023年度九州大学マス・フォア・インダストリ研究所
共同利用研究計画 公募開始のお知らせ

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)
~ Brown Bag Seminar Series ~

- 1 第76回『生体リズムと時間治療』
- 第77回『東日本大震災における災害弱者の心理社会的影響: 障害の社会モデルとインクルーシブ社会』
- 第78回『超清潔社会で急増する慢性炎症生疾患を標的とする免疫制御技術』

概要

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)は、毎週水曜日のランチタイムに「Brown Bag Seminar Series」を開催しています。アジア・オセアニア地域やSDGsに関連する最新の研究活動を多くの方に広め、異分野研究ネットワーク・交流の機となる場を提供する催しです。途中参加・退室もOK!

<各回共通>

形式 オンライン (Zoom Webinar)
言語 日本語・英語 (同時通訳あり。スライドやポスターも日英2言語対応)
定員 500名
対象者 どなたでも参加可能
参加費 無料
詳細 下記URLをご覧ください

<https://q-aos.kyushu-u.ac.jp/>

問い合わせ 九州大学IQ支援室

TEL : 092-802-2603

E-mail : iq-kenkyu@jimu.kyushu-u.ac.jp

.....

第76回

日時 12月7日(水) 12:10~12:50

タイトル 『生体リズムと時間治療』

(*キーワード/概日リズム/時計遺伝子/時間治療)

登壇者 大戸 茂弘 教授(薬学研究院 臨床薬学部門)

参加申込 下記URLより、お申し込みください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_svVlbbhYTpiLBTXVptm7BA

.....

第77回

日時 12月14日(水) 12:10~12:50

タイトル 『東日本大震災における災害弱者の心理社会的影響: 障害の社会モデルとインクルーシブ社会』

(*キーワード/災害/障害/インクルーシブ社会)

登壇者 田中 真理 教授(基幹教育院 自然科学実験系部門)

参加申込 下記URLより、お申し込みください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_jdni2MNUSE6o0TSwuHd7pg

.....

第78回

日時 12月21日(水) 12:10~12:50

タイトル 『超清潔社会で急増する慢性炎症生疾患を標的とする免疫制御技術』

登壇者 片山 佳樹 教授(工学研究院 応用化学部門)

参加申込 下記URLより、お申し込みください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_ZX4Hk-xMTJmtTXnbcJiEqQ

・セミナーチラシ : https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_30539_file.pdf

2 九州大学アジア・オセアニア研究教育機構シンポジウム2022

概要

九州大学アジア・オセアニア研究教育では、国際的かつ学問分野の枠を超えた交流を行い、学際的・融合的な研究教育活動をさらに推進することを目的として毎年シンポジウムを開催しております。

今年度は地球の未来を守るためのSDGs「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」を達成し、脱炭素社会を実現するために、「資源循環」にかかわるすべての分野(理工系、生物系、人文社会系、複合領域)から、興味深いトピックスを選び、国内外から講演者を集め、オンライン+ハイブリッドを組み合わせた2日間のプログラムを12月15日(木)~16日(金)に企画しました。

分野の垣根を超えた理解と討論を通して、アジア・オセアニア諸国の資源とその循環の特徴に対する理解、課題認識の共有、さらにはアカデミアとしての新たな学術領域の発掘につながることを期待しています。是非ご参加ください。

日時

1日目 2022年12月15日(木) 13:00~16:40 会場: オンライン

2日目 2022年12月16日(金) 10:00~17:40 会場: オンライン&稲盛ホール(一部のみ)

内容

【12月15日(木): オンライン】

<招待講演>

・「カーボンニュートラルと資源循環との両立を目指した分離技術開発」

所 千晴 教授(早稲田大学理工学術院 創造理工学部/東京大学)

・「有機資源の持続的循環に向けたバイオマス利活用の意義と課題」

鮫島 正浩 特任教授(信州大学 工学部)

<ショートプレゼンテーション/パネルディスカッション>

松八重 一代 教授(東北大学 大学院 環境科学研究科)

大内 隆成 講師(東京大学 生産技術研究所)

石橋 勇志 准教授 (九州大学 農学研究院)
高田 克彦 教授/所長 (秋田県立大学 木材高度加工研究所)
スコット バレンタイン 教授 (九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構)

【12月16日(金) : オンライン&稲盛ホール(一部のみ)】

<招待講演>

・「地球と宇宙での資源探査」

辻 健 教授 (東京大学 大学院工学系研究科 システム創成学専攻)

・「Utilization and protection of biological/genetic resources using the Nagoya Protocol」

Daniel Robinson 教授 (School of Humanities & Languages, The University of New South Wales)

・「環境にやさしいプラスチックの将来展望 ~ 生分解性プラスチックとバイオマスプラスチック ~」

岩田 忠久 教授 (東京大学 大学院農学生命科学研究科)

・「Biotechnical processes for metal extraction and recovery from spent batteries and printed circuit boards」

Anna Kaksonen 氏 (Industrial Biotechnology, CSIRO)

<グループセッション> 会場：九州大学稲盛ホール

第1部 13:00~14:20

グループセッション1 水圏における食料生産システムの革新に向けて

グループセッション2 未来の持続可能な社会のための生物多様性と遺伝資源

グループセッション3 Medicine and Health オンラインのみ開催

第2部 16:15~17:35

グループセッション4 防災と復興、文化財の修復

グループセッション5 金の歴史

グループセッション6 鉄のグローバルヒストリー オンラインのみ開催

対象者 どなたでも気軽にご参加頂けます。

定員 Zoom 500名、九州大学稲盛ホール100名

参加費 無料

詳細および参加登録

参加登録期限：12月13日(火)正午

<https://q-aos.kyushu-u.ac.jp/symposium-2022/>

問い合わせ 九州大学IQ支援室 aoevent@jimu.kyushu-u.ac.jp

・シンポジウムチラシ：https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_30540_file.pdf

3 第24回GICセミナー「OLED TV技術と未来展望」

概要

九州大学グローバルイノベーションセンター(GIC)では、客員教授等を講師として招き、教育、研究など多岐にわたる分野について、学内外の皆様に向けたセミナーを実施しております。

24回目となる今回は、昨今スマートフォンを中心に急速に普及が進んでいる有機EL(OLED)において、大きな技術的な壁が存在するとされてきた大型化の課題に対し、それまでの常識を覆す手法を用いて大型有機ELのテレビの量産技術を実現した過程について講演します。

日時

2022年12月12日(月) 13:00~15:20

場所

グローバルイノベーションセンター 3F 研修室

(九州大学筑紫キャンパス：福岡県春日市春日公園6-1)

(アクセスマップURL) <https://www.gic.kyushu-u.ac.jp/j/access/index.html>

内容

講演題目：OLED TV技術と未来展望

講師：辻村 隆俊 氏 [九州大学グローバルイノベーションセンター客員教授、
コニカミノルタ株式会社 技術フェロー]
世話人：服部 励治 [九州大学グローバルイノベーションセンター教授]

詳しい講演概要、申込方法等は、次のURLをご参照ください。
<https://www.gic.kyushu-u.ac.jp/j/seminar/gic024.html>

対象者 どなたでもご参加いただけます。

定員 60名 (先着順)

参加費 無料

申込期限 セミナー開催日までにお申し込みください。

申込方法

参加ご希望の方は、次のURLの申込方法をご参照いただき、お申し込みください。

<https://www.gic.kyushu-u.ac.jp/j/seminar/gic024.html>

問い合わせ

九州大学グローバルイノベーションセンター (GIC) 事務室

Mail : jim@gic.kyushu-u.ac.jp

・セミナーチラシ : https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_30541_file.pdf

4 2023年度九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 共同利用研究計画 公募開始のお知らせ

概要

本研究所は日本初の産業数学の研究所であり、多様な数学研究に基礎を置く、新しい
産学連携の拠点として2011年4月に附置研究所として設立されました。2013年4月には
文部科学大臣から共同利用・共同研究拠点「産業数学の先進的・基礎的共同研究拠点」
に認定され、理念である「マス・フォア・インダストリ」の具現化を推進しているところ
です。その事業の一環として、本研究所は2023年度の共同利用研究を下記の通り公募
します。多数応募いただきますようお願い申し上げます。

詳細はwebページをご覧ください。 <https://joint.imi.kyushu-u.ac.jp/>

詳細

1. 公募する研究種別

- (1) プロジェクト研究
- (2) 国際プロジェクト研究
- (3) 女性研究者活躍支援研究
- (4) 若手・学生研究
- (5) 一般研究

2. 公募する研究種目

- (1) 研究集会(I)、研究集会(I)オンライン型
- (2) 研究集会(II)、研究集会(II)オンライン型
- (3) 短期共同研究
- (4) 短期研究員

3. 応募方法

(1) 応募資格

大学・大学院・短期大学、大学共同利用機関、高等専門学校、国公立試験研究機関、
独立行政法人および企業に所属する研究者、および大学院生

(2) 応募方法

本拠点のウェブページから電子申請システムを利用して共同利用研究計画提案書を
作成し、応募してください。 < <https://joint.imi.kyushu-u.ac.jp/> >

(3) 応募締切日
2023年1月31日（火）

4. 採否の連絡

採否は2023年2月末までに申請者にお知らせし、ウェブページに掲載します。

問い合わせ

九州大学マス・フォア・インダストリ研究所

共同利用・共同研究拠点事務室

〒819-0395 福岡市西区元岡744

Tel : 092-802-4408

E-mail: imikyoten@jimu.kyushu-u.ac.jp

<https://joint.imi.kyushu-u.ac.jp>

・公募チラシ : https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_30542_file.pdf